

# 2006 Chorus Ohyama with Orchestra Ensemble Kanazawa

REQUIEM

第11回定期演奏会

合唱団おおやま

with オーケストラ・アンサンブル金沢

とき／2006年 8月 27日(日) 13時30分開場 14時開演

ところ／富山市大山文化会館

主催／富山市・富山市教育委員会・合唱団おおやま・(財)石川県音楽文化振興事業団 共催／北日本新聞社 後援／FMとやま 楽器協力／開進堂楽器

## Kazufumi Yamashita (指揮) 山下一史



1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、(故)森正の各氏に師事。

1982年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝する。

1985年12月からヘルベルト・フォン・カラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントをつとめ、86年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急遽、急病のカラヤンの代役として、ジーンズ姿のまま「第9」を指揮し、話題となった。その成功以来、ザルツブルグ・フینگステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約、以後、デンマーク放送交響楽団、ライナス交響楽団、ソングーイランド交響楽団などを指揮、着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)の首席客演指揮者をつとめた。1998、1999年と連続して、スウェーデンの名門、マルメ交響楽団の定期公演、1999年3月にはオークランド交響楽団(ニュージーランド)の定期公演に出演した。

日本国内では、1988年「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮してデビューを飾り、以後、国内の主要オーケストラに定期的に出演し、好評を得ている。NHK交響楽団の副指揮(88年～95年)、オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクター(91年～93年)、九州交響楽団の常任指揮者(96年～99年)をつとめた。現代作品の演奏にも定評があり、1996年日本音楽コンクール作曲部門の指揮において審査員特別賞を受賞した。大阪音楽大学ザ・カレッジオペラハウスでは2001年夏のモーツァルト<ドン・ジョヴァンニ>公演に続き、2002年夏のモーツァルト<魔笛>公演、2003年春のレオンカヴァルロ<道化師>、夏のモーツァルト<フィガロの結婚>、秋の松村禎三<沈黙>、2004年夏の<ドン・ジョヴァンニ>、同年秋の<ヴォツェック>はそれぞれ高い評価を得ており、本格的なオペラプロジェクトへの意欲に満ちた取り組みに、ますます大きな注目を集めている。

2002年4月よりオペラハウス管弦楽団常任指揮者をつとめている。

## Ayumi Yokomachi

(メゾソプラノ) 横町あゆみ



京都市立芸術大学音楽学部卒業、金沢大学大学院教育学研究科音楽教育専攻修了。国立音楽大学音楽研究所研究生として、イタリア初期バロックの演奏様式を学ぶ。これまでヴィヴァルディ「グロリアミサ」、ヘンデル「メサイア」、バッハ「口短調ミサ」や教会カンタータ等のバロック時代の作品を中心にソリストとして出演する。キャノンズ・コンサート室内合唱団および声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」メンバー。

## Taichi Uchiyama

(バリトン) 内山太一



武蔵野音楽大学声楽科卒業。ミュンヘン国立音楽大学卒業。シューベルトの三大歌曲集「冬の旅」、「水車小屋の娘」、「白鳥の歌」、等ドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公演のオペラやメサイア、ベートーベン第九等、数多くのコンサートに出演。NHKFM等ラジオ、テレビにも出演。1993年再度1年間ドイツに留学。

合唱団おおやま、入善混声合唱団、入善コスモホール少年少女合唱団くびと、上市町子供の城児童合唱団、大地の会女声合唱団、等の指導。元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師。

Orchestra Ensemble Kanazawa

## 「利家とまつ」より

渡辺 俊幸 作曲

1 そうりゆう  
颯流 (メインテーマ)

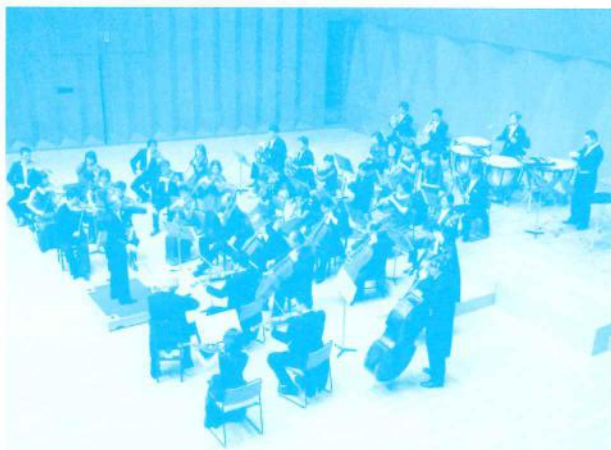
2 とわ  
永久の愛 (紀行テーマ)

(曲目解説)

2002年に放映されたNHK大河ドラマ「利家とまつ～加賀百万石物語～」で、利家を唐沢寿明が、まつを松嶋菜々子が演じていたのは、まだ記憶に新しいところである。

この大河ドラマの音楽はすべて、先日亡くなられた岩城宏之氏が指揮し、オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)が演奏している。(メインテーマはNHK交響楽団とOEKの合同メンバーが演奏した。)

今回はその中から、ドラマのオープニングで毎回流れていたメインテーマ「颯流」と、これも毎回本編終了の後、ドラマゆかりの地の紹介の時に流れていた紀行テーマ「永久の愛」の2曲をお届けする。



混声合唱のための唱歌メドレー

## 「ふるさとの四季」

源田 俊一郎 編曲

□ ふるさと  
故郷 ～ 春の小川

おほろづきよ  
～ 朧月夜 ～ 鯉のぼり

ちやつみ  
～ 茶摘 ～ 夏は来ぬ

～ われは海の子 ～ 村祭 ～ もみじ紅葉

～ ふるさと冬景色 ～ 雪 ～ 故郷



(曲目解説)

この「ふるさとの四季」は題名のとおりに、故郷で始まり、春から順に四季を追ってなじみ深い唱歌が続いた後、再び故郷で曲を締めくくっている。

編曲者の源田俊一郎は、楽譜の前書きでこう記している。

「これらの唱歌の中に歌い込められている自然の美しさや文化、人々の愛情などはいつまでも失われてはならない大切なものとして、私たちが歌いついでいくべきではないでしょうか」と。

## III Maurice DURUFLÉ REQUIEM

## デュリュフレ「レクイエム」

|   |                     |                               |             |
|---|---------------------|-------------------------------|-------------|
| 1 | Introit             | 入祭唱 (永遠の安息を彼らに与えたまえ)          | (合唱)        |
| 2 | Kyrie               | キリエ (主よ、憐れみたまえ)               | (合唱)        |
| 3 | Domine Jesu Christe | 奉献唱 (主イエス・キリスト、栄光の王よ)         | (合唱とバリトンソロ) |
| 4 | Sanctus             | サンクトゥス (聖なるかな、万軍の神たる主)        | (合唱)        |
| 5 | Pie Jesu            | ピエ・イエズ (やさしいイエスよ)             | (メゾ・ソプラノソロ) |
| 6 | Agnus Dei           | アニヌス・デイ (神の子羊)                | (合唱)        |
| 7 | Lux æterna          | 聖体拝領唱 (永遠の光が彼らを照らしますように)      | (合唱)        |
| 8 | Libera me           | リベラ・メ (我を永遠の死から開放したまえ)        | (合唱とバリトンソロ) |
| 9 | In Paradisum        | 天国にて (天使たちがあなたを天国にお導きくださるように) | (合唱)        |



## (曲目解説)

モーリス・デュリュフレ(1902~1986)は、パリの教会のオルガニストとして出発し、オルガン曲の作曲家として、またコンサート・オルガニストとして一世を風靡したフランスの音楽家である。

このデュリュフレのレクイエムは、同じフランスの作曲家フォーレがレクイエムを作曲して60年後の1948年に作曲されている。この2曲は、よく似通っている。

「レクイエム」とは、死者のためのミサ曲のことで、亡くなった人の安息を祈るカトリック教会の儀式の際の音楽を指し、ラテン語のミサ典礼文で構成されている。

通常のレクイエムが、入祭唱(レクイエム)~キリエに続いて、劇的なディエス・イレ(怒りの日)があるのに対し、本曲では、ディエス・イレは除かれ、また、通常終曲であるリベラ・メの後に、まさに楽園的な美しいイン・パラディスム(天国にて)を加えているのはフォーレのレクイエムと同じである。のみならず、曲全体を通して、他のレクイエムのような劇的な要素を極力排し、癒し系の美しい音楽となっているのも、よく似ている。

さらに、デュリュフレは、傾倒していたグレゴリオ聖歌(中世から歌われているカトリック教会の典礼音楽。単旋律。ヨーロッパ音楽の源流といえる。)を入祭唱、キリエ、サンクトゥス、イン・パラディスムの旋律にはほぼそのまま使っている。このためであろうか。例えようのない美しさと同時に、ある種なつかしさの様な穏やかな感動を覚えさせる。

また、この曲の中で変拍子が多用されているのも、現代音楽の故というよりは、拍節の概念が曖昧だったグレゴリオ聖歌をなるべく忠実に取り入れようとした結果であることも、この自然で流麗な音楽からすれば一目(一聴?)瞭然である。



## Orchestra Ensemble Kanazawa



## (オーケストラ) オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年、音楽監督に故・岩城宏之氏を迎え、日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。世界中よりメンバーを公募し、多くの外国人を含む40名が在籍。2001年に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし金沢はもとより東京・大阪・名古屋でも定期的に公演を開催し、これまでに、ヨーロッパ、アジア諸国を含む10度の海外公演を成功させている。2005年7月にはドイツ最大の音楽祭、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭に招聘され、高い評価を得た。また、設立時よりコンポーザー・イン・レジデンスを実施し、現代音楽も積極的に演奏している。03年よりワーナーミュージック・ジャパンとの提携によるCDを次々と発表するなど、数多くのCDを製作。常に意欲的な活動を続け、国内外で注目されているオーケストラである。

ゲスト・コンサートマスター  
深山 尚久

## Hiroko Toyoshima

## (オルガン) 豊嶋 比呂子

東京コンセルヴァトアール尚美 電子オルガン科卒業  
これまで、各種のコンサートにおいて、「ヘンゼルとグレーテル」、「ジャンニ・スキッキ」、「手古奈」、シューベルト「ミサ第5番」、「サウンドオブミュージック」などを編曲、演奏する。その他、富山県童謡フェスティバルや魚津の街の音楽会等でも電子オルガンの編曲や演奏を担当。元、洗足学園魚津短期大学非常勤講師。  
現在、(財)ヤマハ音楽振興会システム講師。



## Naoko Ita

## (コレペティトウア) 板 直子

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。山崎道子、三津橋文子、森山ゆり子諸氏に師事。1993年より板直子&長崎裕子アンコール・プリュピアノデュオコンサート(第1回～第4回)を開催。

1994年、第2回国際ピアノデュオコンクール(於東京)本選出場、入選。

その他、むさしの会、市民ホールコンサート、黒部名水の里第九コンサート等に出演。また、声楽や器楽の伴奏も行う。現在、(株)開進堂楽器音楽教室ピアノ講師、国際ピアノデュオ協会会員、富山県ピアノ指導者協会会員、アンコール・プリュ主宰。

# Chorus Ohyama 合唱団おおやま



95年8月に旧大山町民を中心に結成。

96年8月に第1回の「夏のメサイア」を公演。

以来、毎年夏にオーケストラとの共演による公演を重ね、

昨年10周年記念演奏会として、5年ぶりに「メサイア」を演奏した。

オーケストラ・アンサンブル金沢とは9回目の共演。

富山市大山文化会館で、毎週水曜日夜、練習を行っている。

## ソプラノ

岩竹 幸絵 / 伊井 乃里子 / 岡本 祀子 / 加藤 一美 / 木村 まゆみ / 谷崎 千鶴  
谷崎 千紗 / 谷本 真理子 / 千葉 多恵 / 中川 律子 / 宮原 百合子

## アルト

麻島 利子 / 板 直子 / 稲垣 聖子 / 井上 澄子 / 奥野 知子 / 片山 美富里 / 小泉 康子  
新村 まゆみ / 高木 茂子 / 戸田 圭子 / 仲井 葉子 / 長原 啓子 / 平崎 康子 / 村橋 伸子

## テノール

井内 学 / 谷崎 修一 / 東海 廉之 / 森清 篤実

## バス

大磯 覚昌 / 窪田 英史 / 小塩 靖 / 中村 諭 / 野入 豊光 / 野尻 芳邦  
松井 輝 / 丸山 隆 / 宮元 美信



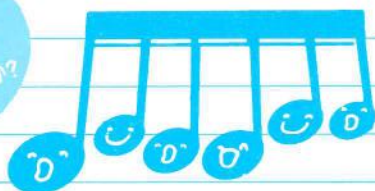
(ホームページ)



合唱団おおやま **HP** ができました!  
<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

合唱団おおやまの定期演奏会や今後の活動を掲載して行く予定です。  
興味のある方は一度、ご覧ください。

みんなで  
楽しく歌い  
ませんか?



## 団員募集!!

合唱団おおやまでは「感動の大合唱を共に」という

スローガンのもと発足し、今回、11回目の定期演奏会を迎えました。

オーケストラをバックに気持ちよく、歌ってみませんか?

練習日 / 毎週水曜日 (19:30~21:30)

場 所 / 富山市大山文化会館 (南富山駅より車で約15分)

お問合せ / 富山市大山文化会館 ☎ 076-483-0001 / 谷崎 修一 ☎ 076-483-1774

初心者  
大歓迎

見学  
自由です